


(様式第2号)

# 会派政務調査活動（行政視察）報告書

（総括）

会派名	地域住民の会
会派の代表者名	小笠原 昌作 
視察（調査）期日	平成30年3月22日（木）～平成30年3月24日（土）
視察（調査）先	愛知県東海市 大阪府松原市 神戸市
視察（調査）の目的 (大仙市の現状と選定理由等)	1 東海市 「いきいき元気推進事業について」 2 松原市 「幸南食糧株式会社」視察 3 神戸市 「人と防災未来センター」視察
視察（調査）の行程	別紙のとおり
視察（調査）への参加議員名	小笠原 昌作
視察（調査）概要	1 東海しあわせ村は「めざせ、健康寿命日本一」をテーマに運動施設や公園、飲食店との協働連携により、まち全体で市民の健康つとりを推進してきた。特にユニークな環境づくりで食生活や楽しみながら行う運動を行い、健康における評価が高まる市全体があらゆる面で活気に満ちあふれている。カエのトモトナースも大きな応援団であった。 2 幸南食糧株式会社の視察。とにかく元気な笑顔のあふれる会社。創業者の川西会長も元気。元気でバイブリティがある。若いころからの挑戦者として、わずか研賃店舗から年商250億円の米穀卸メーカーにあげた。気づき経営者元祖である。会社には多くの秋田県産米があり、身近なJAあきたの「あきたこまち」もめばついた。

(様式第2号)

# 会派政務調査活動（行政視察）報告書

（総括）

会派名	
会派の代表者名	
視察（調査）期日	平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ）
視察（調査）先	
視察（調査）の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	
視察（調査）の行程	別紙のとおり
視察（調査）への 参加議員名	
視察（調査）概要	3. 人と防災未来センターは、災害対策専門取組の育成、実践的な防災研究と若手防災専門者の育成、若手人材の育成の拠点として大きな役割を果たしており、全国から研修、受講者の高い評価を得ている。地震時の生々しい展示、資料収集は学ぶところが大きい。

視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について

く いま、元気推進事業について、行政と市民が一体となって取り組んでいる。特に一人ひとりが自然に健康づくりができるようつくり、企業への出前講座、運動、食生活応援などが医師会、歯科医師会、薬剤師会等と連携をとおして事業はすばらしい。また公園を利用した健康企画は本市にも不可欠だ。医療費と年々下がり財政により大きく役割を果たしている。トクトは大きなアピール。本市としても元気復興と特徴ある健康食を造めた方がよいと思う。

α 米食糧株式会社 事業をみると、多種多様な商品を作り、米の消費拡大に貢献している。何れも人の消費者をたいせうにしている。

い、いつ来るかわからない多種多様な災害さらなる防災・危機管理体制の強化が喫緊の課題。本市としても昨年から大雨による災害が危惧されており、市民はもちろん防災担当取員の資質の向上研修を必要である

その他  
(会派としての総合的意見、上記成果への今後の取り組み等)

→、平均寿命が年々伸びているが健康寿命をいかに伸ばすかは課題。

保健、医療、福祉の三位一体の連携を地域住民と行政が専ら取組を取り入れ本腰で努めてほしい。今後健康公園も企画した方がよい。

α、着実に伸びている米産業。そのリーダーとなっている川西会長の講演などを参考にしたいと思う。

い、本市にも防災などの展示や研修会を老若男女、企業に推進する必要がある。

積極的な